

# 円滑なコミュニケーションのために

—環境コミュニケーションを円滑にすすめるために—

---

2015年 11月26日・12月 1日

環境省事業 化学物質アドバイザー

寺沢 弘子

# 化学物質アドバイザーとは・・・

化学物質に関する専門知識や、化学物質についての的確に説明する能力等を有する人材を登録し、派遣等を行う環境省の事業のひとつ。

化学物質アドバイザーの目的は？

化学物質について、中立的立場から、わかりやすく解説したり、アドバイスすることを目的としています。

化学物質アドバイザーが持っている知識は？

- ★ 化学物質の物性・有害性と人や環境への影響
- ★ 化学物質全般に関する最新の知見
- ★ 化管法をはじめとする化学物質関連法規
- ★ リスクの考え方・リスク評価
- ★ リスクコミュニケーションの考え方・手法 など

※ リスクコミュニケーションの推進をお手伝いします。

※ 化学物質アドバイザーの活動は営利を目的としたものではありません。

# 化学物質アドバイザーの役割

## ① 講演会・勉強会の講師

- ・行政主催の「化学物質に関する市民向けシンポジウム」等
- ・行政主催の「事業者向けPRTR説明会」等
- ・企業の社内向け研修会
- ・市民グループの勉強会



## ② リスクコミュニケーションの場の解説者

企業と市民の意見交換・情報共有に基づく相互理解の場に、解説者（インタープリター）として参加。



# 化学物質アドバイザーへのお問合せは

## 化学物質アドバイザー

中立的立場でわかりやすくご説明します。

環境省 > 環境保健部 > リスクコミュニケーション >

### お知らせ

「旅費規程(旅費・謝金について)の変更について」

化学物質アドバイザー派遣事業事務局

事務局からの旅費支援期間終了のため、「旅費・謝金規程」をあらため、「謝金規程及び旅費の目安(pdf 124KB)」として改訂しました。変更内容は以下のとおりです。

【旧】原則として依頼者の負担  
【新】依頼者の負担(事務局の負担も可)

### 新着情報

■ 2015/3/31  
これまでの派遣実績に平成26年度分を掲載しました!

[more](#)

### コラム

- ・ [コラム](#)
- 化学物質アドバイザーの紹介
  - ・ [化学物質アドバイザーとは](#)
  - ・ [化学物質アドバイザーの役割](#)
  - ・ [制度の背景](#)
  - ・ [化学物質アドバイザー名簿](#)
- 化学物質アドバイザーの活用場面
  - ・ [リスクコミュニケーションでの活用](#)
  - ・ [勉強会・講演会での活用](#)

### これまでの派遣実績

- ・ [意見交換会事例集](#)
- ・ [派遣実績一覧](#)

### リスクコミュニケーションリンク集

- ・ [環境省のホームページ](#)
- ・ [他省庁のホームページ](#)
- ・ [研究機関等のホームページ](#)
- ・ [自治体のホームページ](#)

※化学物質関連のリンクは[こちら](#)を御覧下さい。

〒100-0074 東京都千代田区九段南3-2-7  
一般社団法人環境情報科学センター内  
化学物質アドバイザー派遣事業事務局  
Tel. 03-3265-4000 Fax. 03-3234-5407  
E-mail: [adviser@ceis.or.jp](mailto:adviser@ceis.or.jp)

※現募集

---

## ◆ 化学物質の環境リスク

### ◆ 化学物質のリスクコミュニケーションと環境コミュニケーション

### ◆ コミュニケーションの事例紹介

### ◆ 円滑なコミュニケーションのために

---

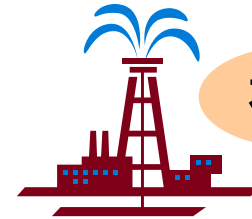
# 身のまわりのものはすべて化学物質！



火山の噴火で発生する、  
二酸化炭素、硫化水素など



樹木や木材  
(セルロース、フィトンチッドなど)

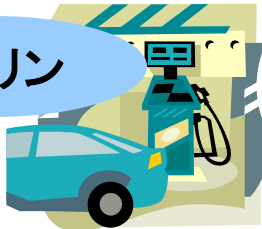


石油

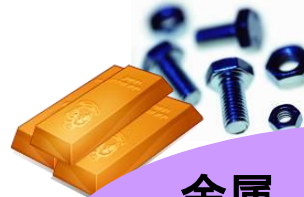


フグの毒  
(テトラドトキシン)

ガソリン



合成繊維  
(ナイロンなど)



金属  
(鉄、アルミニウム、金、  
銀、銅、ニッケルなど)

パソコンや携帯電話  
金属(鉄、アルミニウム、銅など)  
プラスチック(ABS樹脂など)  
ガラス(二酸化けい素など)

注意: 製品には含まれなくても、製造工程で使用  
される化学物質もあります。  
(例: イソプロピルアルコール、フッ化水素酸など)

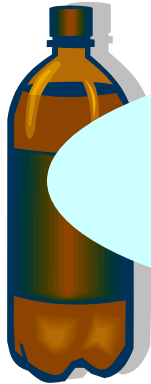


Q: もとから自然界にあった化学物質なら、生物への有害性はないのでは？

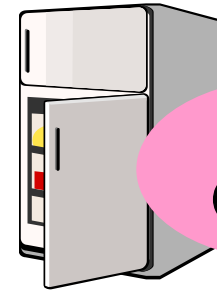
A: いいえ。フグの毒や毒キノコは有害です。

また、ヒ素やアスベストなどの天然の鉱物にも、毒性があります。

# 人間が合成した化学物質の例

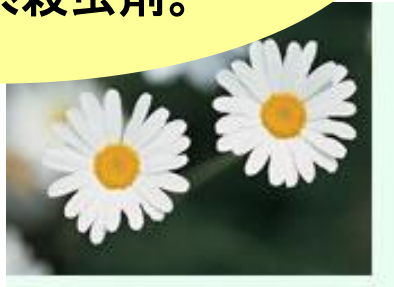
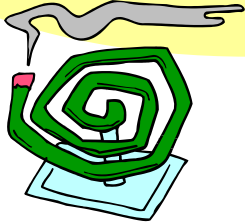


ペットボトル  
(ポリエチレンテレフタレート)  
(キャップやラベルはポリプロピレン)



冷媒  
(フロン)

蚊取り線香  
除虫菊の殺虫成分:ピレトリン  
の類似物質として合成された  
ピレスロイド系殺虫剤。



樟脳(しょうのう)  
かつては、クスノキのチップを  
水蒸気蒸留して抽出。  
現在は、松脂由来のテレピン油  
から得る合成法が主流。

Q: もとから自然界にあった化学物質と、合成した化学物質はどう違うの？

A: 人工的に合成しないと作りだせない化学物質(例:フロン類など)もあります。しかし、同じ名称の化学物質であれば、天然のものも合成したのものも同じです。(元素や化合物といった単位で見れば、その区別はありません。)



# 「化学物質」とは

国語辞典などの記載例(一部抜粋):

原子、分子、分子の集合体、高分子重合体などの独立かつ純粋な物質。混合物の場合は、それを構成する各成分をいう。 など

●特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法):

「化学物質」とは、元素及び化合物(それぞれ放射性物質を除く。)をいう。

●化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法):

「化学物質」とは、元素又は化合物に化学反応を起こさせることにより得られる化合物(放射性物質及び次に掲げる物を除く。)をいう。

●労働安全衛生法(安衛法):

元素及び化合物をいう。

定義によっては、人工的・工業的に合成したものを指し、天然物と区別することもある。



# 化学物質による環境リスク

大気・水域・土壌といった環境中に排出された化学物質が人の健康や動植物の生息又は生育に悪い影響を及ぼすおそれのこと。

有害性の程度 × 暴露量 = 環境リスク



化学物質A:  
毒性が強い



密閉状態で使用するなど、ほとんど暴露されなければ、そのリスクは低い。



化学物質B:  
毒性が弱い



毒性が弱くても、多量に暴露されれば、そのリスクは高い。

化学物質の環境リスクは、有害性だけでは判断できない。  
その化学物質を、どれだけ暴露(摂取)するかも問題になる。

# 化学物質の「ハザード」と「リスク」

参考資料

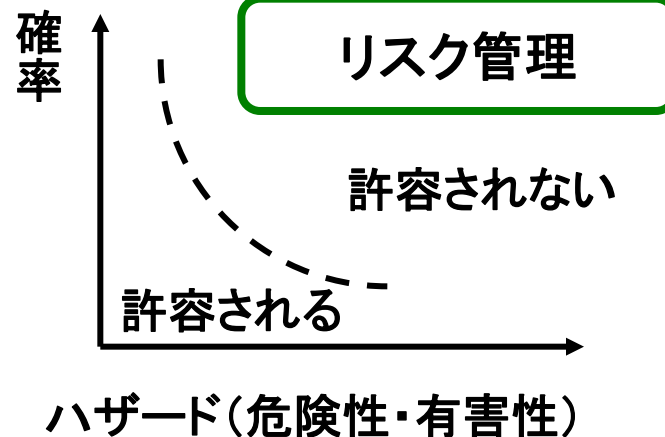
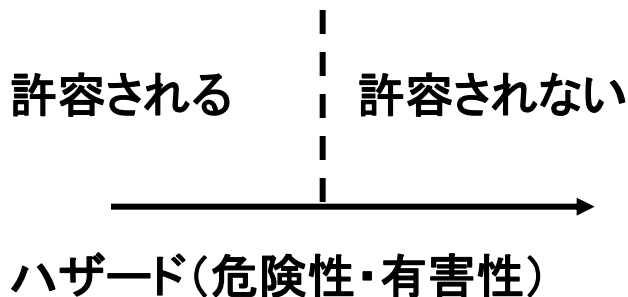
## ハザード

例えば毒性や爆発性など、その化学物質が持っている危険性・有害性の度合い。

## リスク

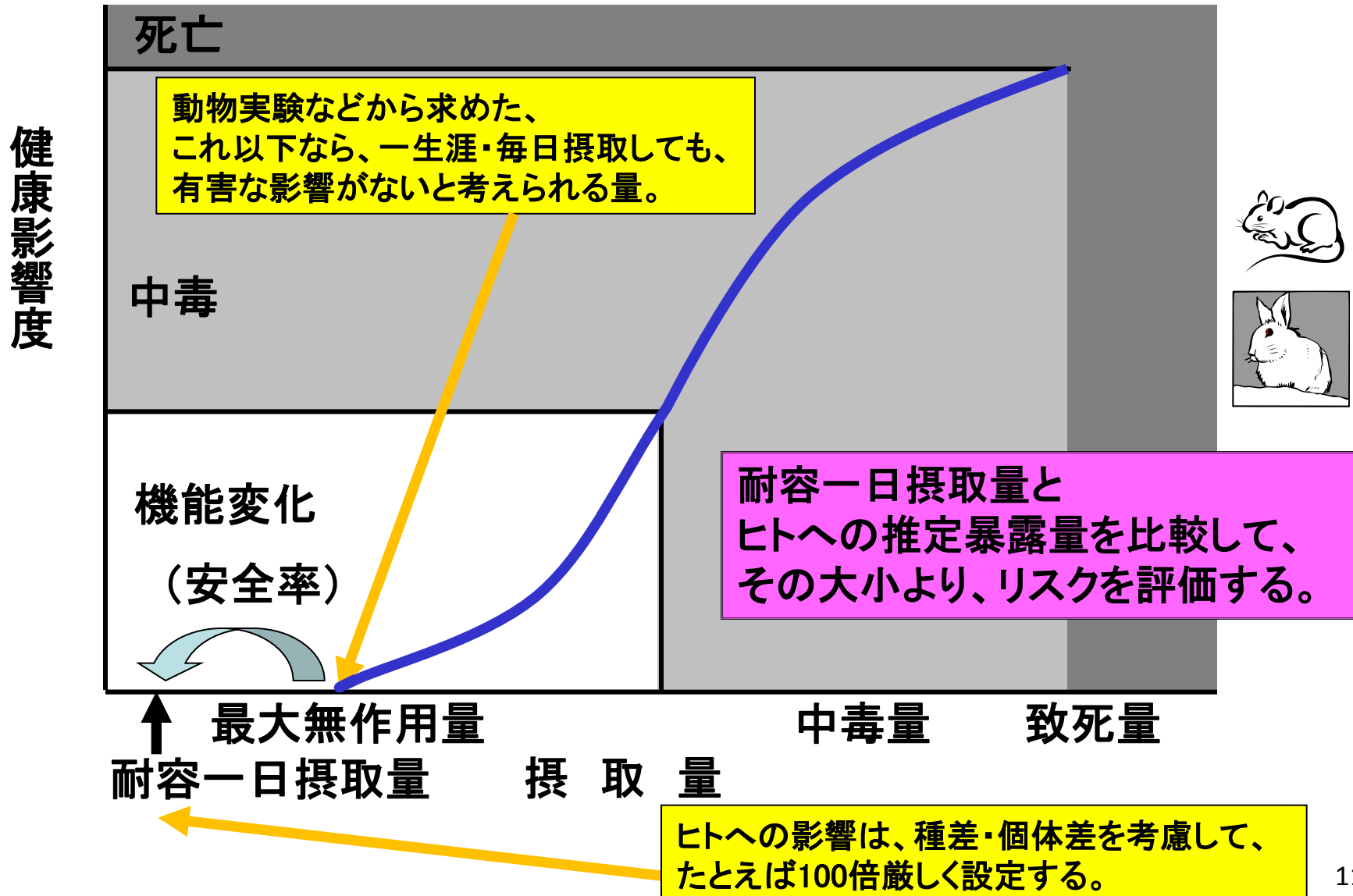
危険性・有害性だけでなく化学物質に触れる量や機会も考慮した、実際の危険や損失につながる可能性。

### ハザード管理



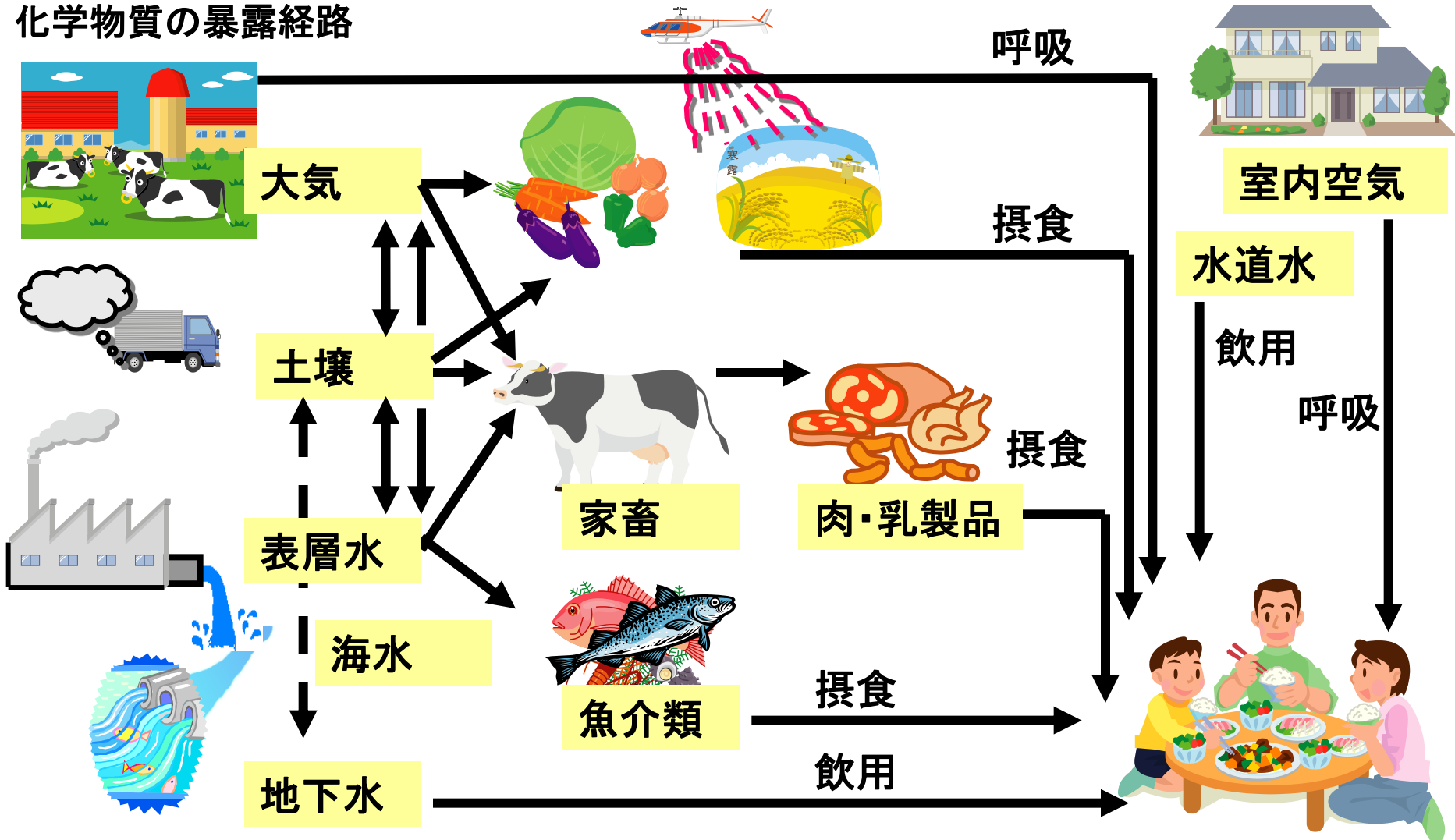
# 化学物質の摂取量と健康影響度の例

用量・反応曲線



# 化学物質の有害性と摂取量からリスクを評価する

## 化学物質の暴露経路



1日あたり、呼吸:15m<sup>3</sup> 飲料水:2L 土壌:0.15g 食事:2kg 体重:50kg  
(環境省暴露評価委員会)

---

◆ 化学物質の環境リスク

◆ 化学物質のリスクコミュニケーションと  
環境コミュニケーション

◆ コミュニケーションの事例紹介

◆ 円滑なコミュニケーションのために

---

# 化学物質の排出・移動量登録:「PRTR」制度とは？

PRTR: <sup>\*</sup>Pollutant <sup>\*</sup>Release and <sup>\*</sup>Transfer <sup>\*</sup>Register

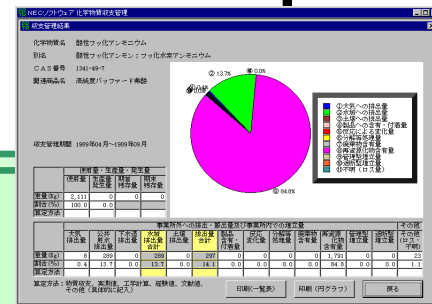
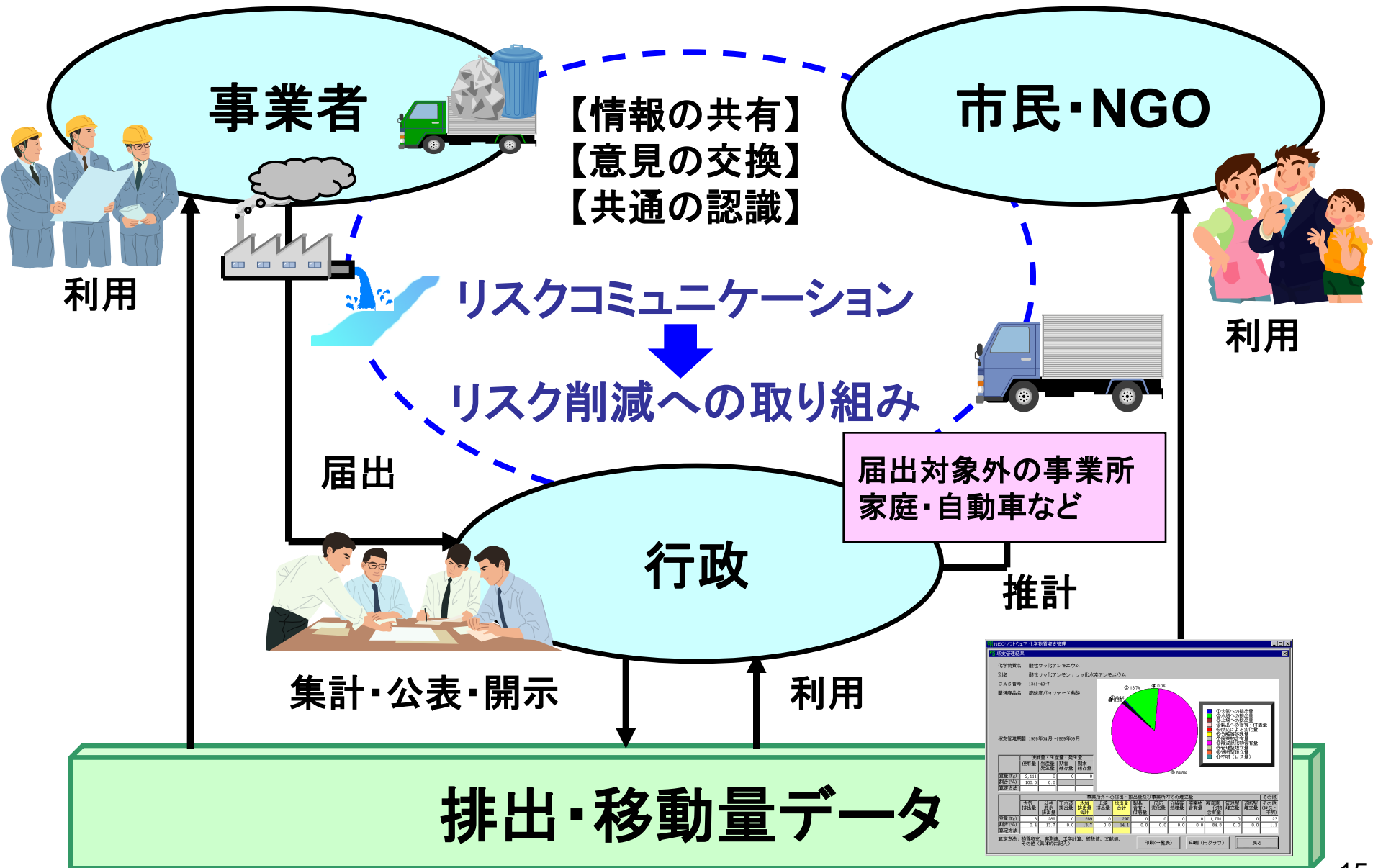
Pollutant	(空気や水などの)汚染物
Release	解放する 放す
Transfer	移す
Register	記録・登記・登録 記録簿・登記簿・登録簿

.. 環境汚染物質排出・移動登録

有害性のある(有害なおそれのある)化学物質が、  
どのような発生源から、どのくらい環境中へ排出されたか、  
あるいは廃棄物として運び出されたか、  
というデータを把握・集計して公表するしくみ

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び  
管理の改善の促進に関する法律 (略称:化管法)

# 「PRTR制度」による排出・移動量データ





# 化学物質のリスクコミュニケーションの利点や目的

## ◎市民(住民)にとって:

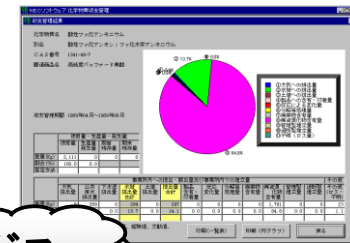
- ・身の回りの化学物質のリスクを知ることができる。
- ・新たな知見によって、自らの生活を改善する可能性が広がる。
- ・行政や事業者にも、地域環境改善や環境配慮型製品の提案ができる。

## ◎事業者にとって:

- ・住民の不安や要望などの情報と、自らの環境への取組状況を共有することで、相互理解が深まり、信頼感を得ることができる。
- ・環境対策の優先度を決める際、住民の要望を参考にできる。

## ◎行政にとって:

- ・住民の要望や事業者の状況を、地域環境改善施策に活用できる。



効果的、効率的な、  
環境リスク削減を  
目指して！



# リスクコミュニケーションを行うと、

---

- ・地域の人たちとの信頼関係を築き、  
共同でリスク抑制の取り組みが可能になる。
- ・「きちんとリスク管理に取り組んでいる企業」として  
イメージアップが図れる。
- ・事業者だけでは気づけなかった問題が分かるようになる。  
問題が大きくなる前に事前に対処できるようになり、  
効率的なリスク管理が可能になる。

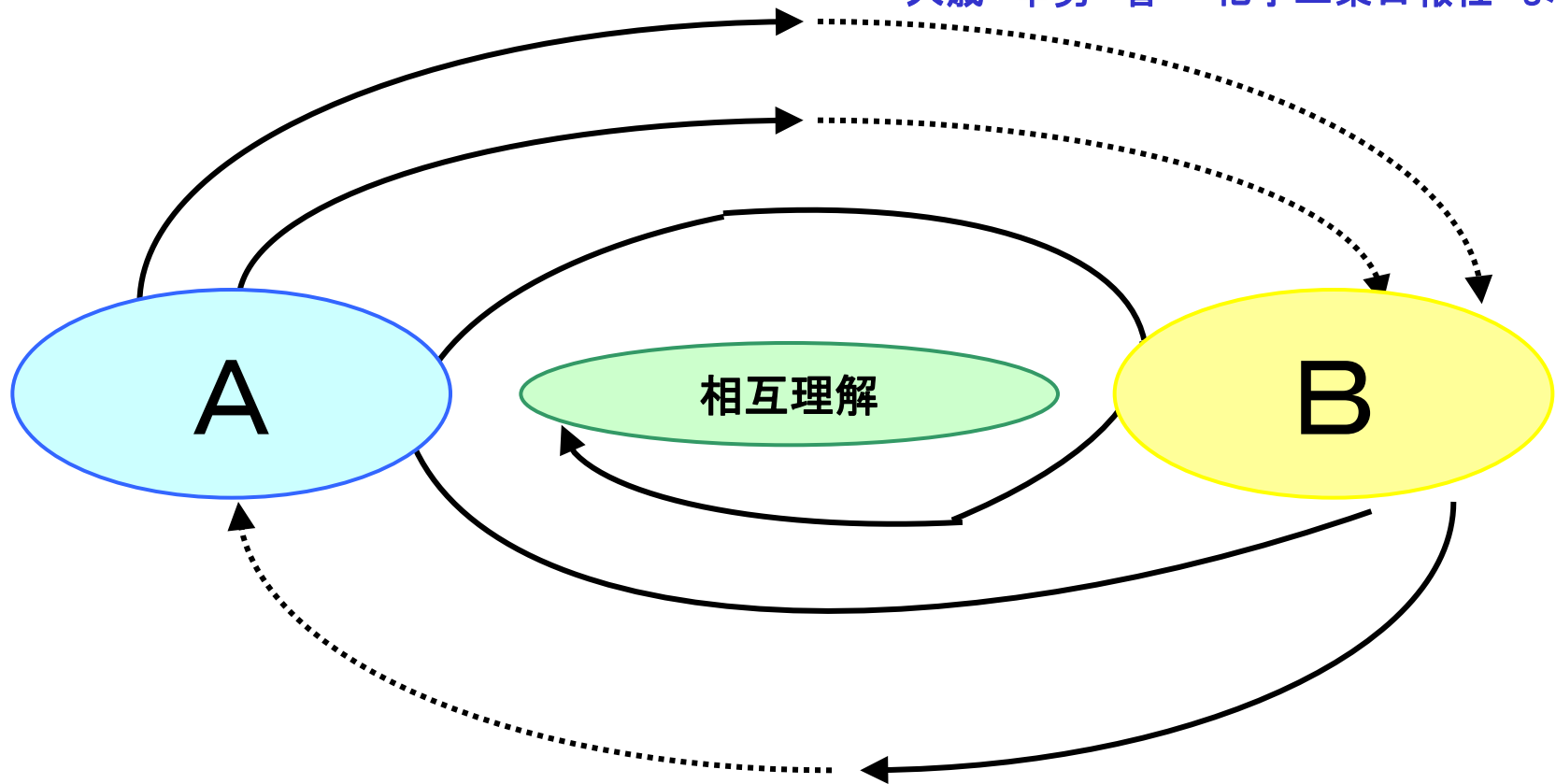
## 十分なリスクコミュニケーションを行わないと、

- ・企業にとって都合のよい情報しか出さないことになりがちで、  
信頼を損ないやすい。
- ・「地域の人々の健康や環境に関心のない企業」として、  
企業イメージが悪くなりやすい。
- ・紛争が発生した場合、関係がこじれて紛争が長期化し、  
莫大なコストがかかるおそれがある。

# リスクコミュニケーションのモデル図

実践—事業者のためのリスク・コミュニケーションハンドブック

大歳 幸男 著 化学工業日報社 より抜粋

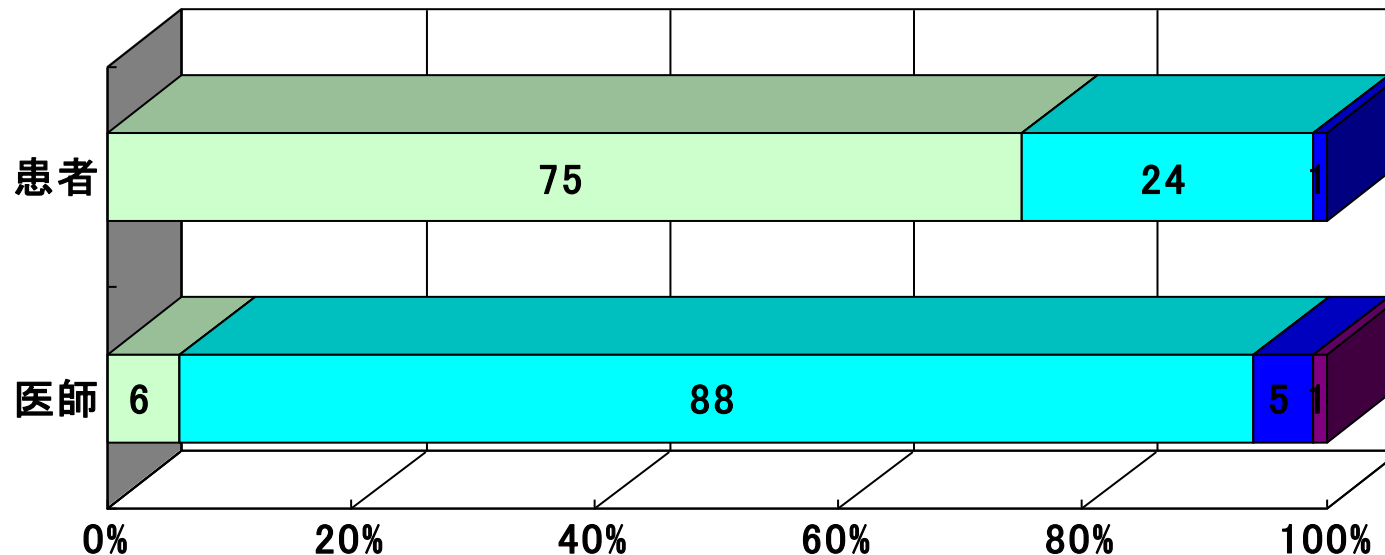


お互い相手の言うことを半分程度しか理解していない。

会話を重ねることで、相互理解が得られる。

# 「治療方針を巡る意識の差」

参考資料



- ① 医師任せ
- ② 両者で相談
- ③ 患者が判断
- ④ その他

- ①「すべて医師任せ」または「医師が最良と思う方法に同意」
- ②複数の方法を説明の上、医師の勧めに同意または両者で相談
- ③複数の方法を説明され、患者が判断

# さまざまな価値観の一例

参考資料

	ガソリン車	ディーゼル車
NO <sub>x</sub> 、PM等 有害物質の排出	少ない 大気への影響小	多い 大気への影響大
燃費	悪い CO <sub>2</sub> の排出多い	良い CO <sub>2</sub> の排出少ない

- 価値観の違いにより、一方だけが正解とは言えない。
- 事業者の考える環境対策も、必ずしも地域住民等の利害関係者に支持されるとは限らない。

「リスクコミュニケーション」ではなく、

## 「環境コミュニケーション」等のタイトルでの開催

県民・事業者・行政などが、環境に関する情報を共有し、  
お互いの理解を深めるために行う意見交換会

### 【環境に関する様々な情報】

- ・環境保全活動
- ・環境配慮型製品の設計や製造
- ・化学物質の保管状況や地震対策
- ・CO2や廃棄物削減への取組
- ・ISO14001への取組
- ・化学物質の排出量削減や環境負荷の低い物質への代替化など  
(PRTR制度に基づく化学物質情報なども含む、環境活動全般)



- 
- ◆ 化学物質の環境リスク
  - ◆ 化学物質のリスクコミュニケーションと環境コミュニケーション
  - ◆ コミュニケーションの事例紹介
  - ◆ 円滑なコミュニケーションのために
-





## ■これまでの派遣実績

### 意見交換会事例集

開催年	事業所名(開催地)	主催	事例集
平成23年	日本山村硝子(株)埼玉工場 (埼玉県熊谷市)	日本山村硝子(株)	 (3,734KB)
平成22年	王子製紙(株)富岡工場 (徳島県阿南市)	徳島県 王子製紙(株)富岡工場	 (4,685KB)
	(株)ケーヒン 角田第一工場 (宮城県角田市)	宮城県 (株)ケーヒン 角田第一工場	 (2,779KB)
平成21年	(株)日立建機カミーノ (山形県東根市)	山形県 (株)日立建機カミーノ	 (2,896KB)
	エム・セテック(株)仙台工場 (宮城県亶理郡山元町)	宮城県 エム・セテック(株)仙台工場	 (3,225KB)
	積水ハウス(株)東北工場 (宮城県加美郡色麻町)	宮城県 積水ハウス(株)東北工場	 (3,706KB)
	大塚製薬(株)徳島第二工場 (徳島県徳島市)	徳島県 大塚製薬(株)徳島第二工場	 (757KB)

化学物質アドバイザーが参加した事例を事務局で取りまとめました。

化学物質アドバイザーがどのような役割を担っているか、また、各事業者や自治体がどのように取り組んでいるかを御覧いただけるかと思えます。

## 化学物質管理

HOME > 化学物質管理 > 化学物質のリスクコミュニケーション > リスクコミュニケーション国内事例

### リスクコミュニケーション国内事例

リスクコミュニケーションの定義には様々なものがあります。NITEでは、種類や方法にかかわらず、「企業が、地域住民などの関係者に対し、化学物質管理を含む環境や安全に関する話題について、情報公開や対話を行った事例」を、リスクコミュニケーション国内事例として紹介しています。

このような活動を行っている企業は、これらの情報を、地域住民などの関係者に自主的に公開し、対話を行う先進的な企業といえます。

※ここに紹介している事例は、NITEの調査により、これまでに知り得たものであり、日本国内の全ての事例ではありません。その他の事例について、掲載のご希望があれば、ご相談ください。

#### リスクコミュニケーション活動の傾向を知る

- リスクコミュニケーション活動を実施する目的
- 活動形態
- 実施頻度
- 参加者やプログラム、環境活動報告内容の傾向の分析
  - 業種別
  - 立地環境別
  - 実施単位別（単独実施／合同実施）

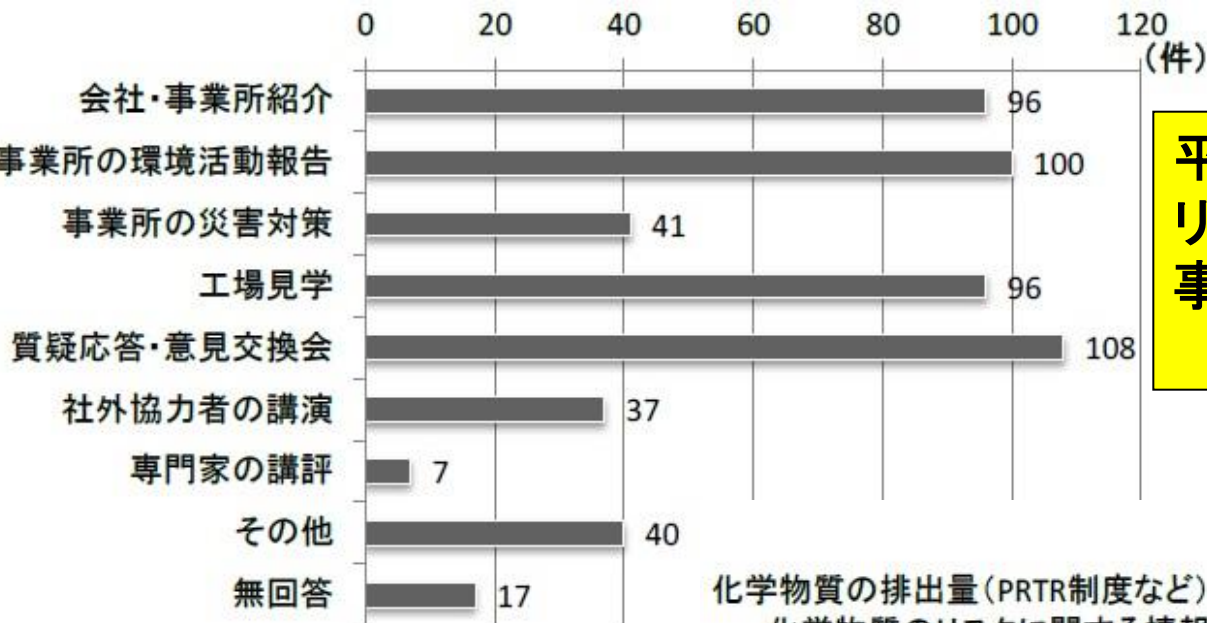
#### 個別の取組事例を探す

- 全国の事例（平成26年度）
- 全国の事例（平成22-23年度）
  - 業種別
  - 立地環境別
  - 実施単位別（単独実施／合同実施）
  - 取扱物質別

リスクコミュニケーションの定義には様々なものがあります。  
NITEでは、種類や方法にかかわらず、「企業が、地域住民などの関係者に対し、化学物質管理を含む環境や安全に関する話題について、情報公開や対話を行った事例」を、リスクコミュニケーション国内事例として紹介しています。

- リスクコミュニケーション活動の傾向を知る
- 個別の取組事例を探す
- リスクコミュニケーション活動を効果的に行う方法を知る
- 調査報告
- NITE講演資料を見る

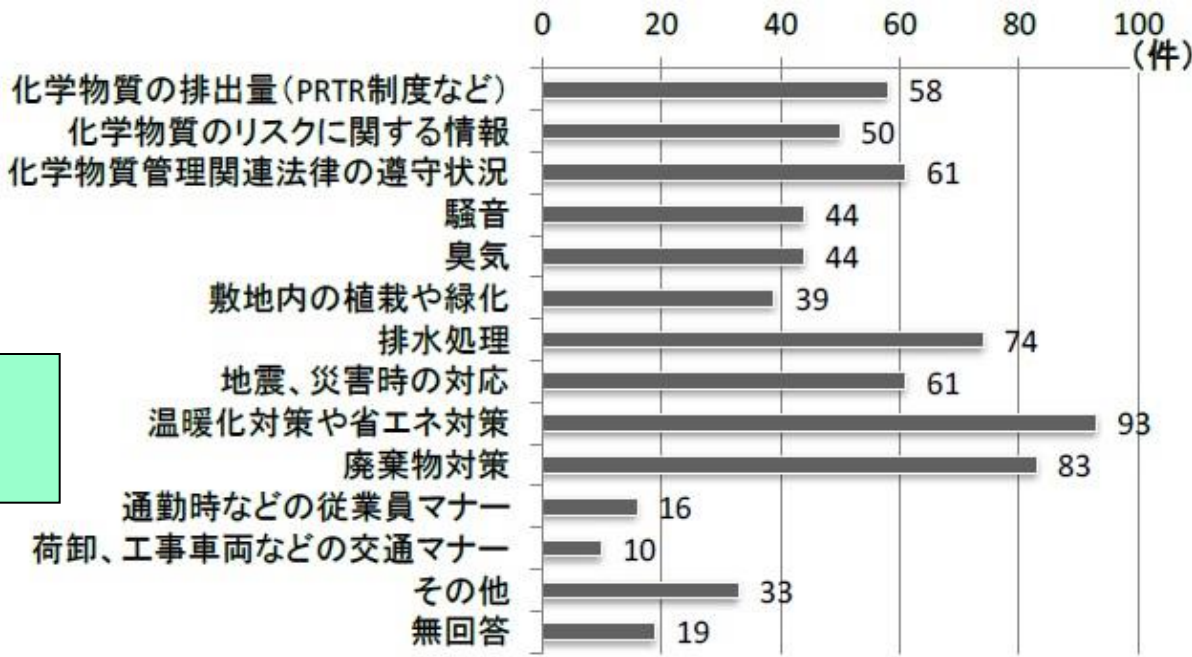
などの情報が掲載されています。



平成24年度  
リスクコミュニケーションの  
事例調査  
約480件発送、192件回収。

↑ 当日のプログラム  
(複数回答、n=142)

環境への取組の説明内容 →  
(複数回答、n=142)





# リスクコミュニケーションの一例

電気機械器具製造業

大気へ 2-アミノエタノール等

水域へ フッ素化合物等 の排出がある。

【プログラム】 約3時間

- 開会挨拶
- 事業内容と環境への取組概要
- 自己紹介
- 基調講演1(水生生物の保護活動)
- 事業所の環境への取組
- 基調講演2(フッ素の基準値)
- 基調講演3(水族館の水処理)
- 事業所内施設の見学
- 市の環境
- 意見交換会
- 閉会の挨拶

処理水で  
飼っている  
魚の見学→



↑パネルを使った、製造工程の説明

## 【参加者】

ファシリテーター	: 2名	(1名は記録等)
インタープリター	: 1名	
ゲストスピーカー	: 3名	
市民団体・地域住民	: 16名	
漁協組合員	: 2名	
行政(市)	: 2名	
事業者	: 5名	
オブザーバー	: 5名	

# リスクコミュニケーションの一例における質疑応答例

## ● 開催前の事業者の懸念事項：

2004年度に2000年度排出量の86%排出削減を達成。

更に大幅削減するためには、処理による電力使用量の増加や薬品の使用、代替物質による新たな化学物質排出などが予想される。

特に排水中のフッ化水素の濃度は、水質汚濁防止法の排出基準の1/10で、海水中の自然由来フッ素と同レベルであるが、更に削減する必要はあるのか？それを事業者だけで判断して良いのか？



漁協組合員

Q： 海へフッ素を1.5ppmで排出しても問題ないという説明でしたが、A社以外の事業所も1.5ppmでフッ素を排出したら、影響は？



インタープリター

A： もともとの海の水に1.3ppmくらいのフッ素が含まれているので、同じレベルの排水をたくさん流しても影響はありません。

参加者の意見： フッ素の排出量を更に削減する必要はない。

# 問題が発生してから直接対話を始めた事例

悪臭の苦情が行政に寄せられ、ある塗装工場が発生源ではないかと考えられた。なお、臭気濃度指数は基準を下回っている。また、工業団地ではないが、複数の事業者が操業する地域である。



この事業者は、エコアクション21の認証を受け、webや小冊子で環境情報を発信していたが、リスクコミュニケーション(直接対話)はしていない。

行政と苦情申立人が事業所を訪問したが、事業者と住民の関係は悪化。住民からの苦情がe-mailで事業者に寄せられ、事業者は、指摘された時間とは操業時間や風向が一致しないなどの理由から、発生源は自社ではないと主張するなどして、両者は対立した。



行政が間に入り、使用する塗料の成分情報(有害性情報等)を住民に公開するなどの情報共有を進めてから、意見交換をすることになったが、直接対話の実現するまで1年近くかかった。

事業者はその土地で十数年操業していて、今まで特に苦情はなかったとのこと。苦情申立人も数十年そこに暮らし、最近になって悪臭がひどくなったとのこと。従来からリスクコミュニケーション(直接対話)を実施していれば、両者の関係がこれほど悪化することは回避できた可能性がある。

- 
- ◆ 化学物質の環境リスク
  - ◆ 化学物質のリスクコミュニケーションと環境コミュニケーション
  - ◆ 円滑なコミュニケーションのために
-



# リスクコミュニケーションの基本ルール

---

1. 事業者は、利害関係者を正当なパートナー(協働者)として受け入れ連携すること。
2. 注意深く立案し、その過程と結果について評価すること。
3. 相手の言うことに耳を傾けること。
4. 正直、率直であり、かつ、透明性を高めること。
5. 他の信頼できる人々や機関と協調、協力すること。
6. メディアの役割、立場を理解すること。
7. 相手が理解できるようにやさしく話すこと。

※米国環境保護庁の基本原則をもとに  
社団法人 日本化学会がアレンジしたもの。

# リスクコミュニケーションにありがちな誤解・思い込み(1)

---

- 化学物質は、有害なもの~~と無害なもの~~に分類できる。
- 化学物質のリスクは、ゼロにできる。
- 化学物質のリスクは、  
科学的にかなり解明されている。
- 大手マスコミの情報は、信用できる。
- 学者は、客観的にリスクを判断している。

【出典】 「化学物質のリスクコミュニケーション手法ガイド」  
浦野紘平編著、ぎょうせい

## リスクコミュニケーションにありがちな誤解・思い込み(2)

- 一般市民は、科学的なリスクを理解できない。
- 情報を出すと、無用の不安を招く。
- 情報をたくさん提供すれば、理解が得られる。
- 情報提供・説明会・意見公募が、  
リスクコミュニケーションである。

誤った思い込みや偏見をなくし、  
まずは相手の考えていることによく耳を傾け、お互いに理解しあうことが大切。

【出典】 「化学物質のリスクコミュニケーション手法ガイド」  
浦野紘平編著、ぎょうせい

# 参加者の設定(検討すべき事項)

---

- 地区の自治会長等のキーパーソン
- 自治会や市の広報を通じての呼びかけ
  - この場合、事前申込の有無、  
予定人数を超えた場合の対応なども検討
- 管轄する県や市などの行政担当者
- 苦情のある方(事業者や行政に連絡があった方)
  - 苦情の内容により、参加を呼びかけるか  
個別対応するかを検討する。
- 環境NPOなどの団体
- 中立的な立場の進行役や解説者
- 傍聴者(見学だけで発言権なし)
  - 近隣住民や事業者の見学希望への対応

# 会場や開催日時の設定

- 参加予定人数等から会場を選定する。
  - 会議室、講堂、工業団地内の集会所等
- 会場の机やイスの配置を検討する。
  - 意見交換時は、円卓が多い。
  - 基調講演などと組み合わせて開催する場合、途中でイス等の並び方を変更することもある。
- 開催日・時間
  - 平日、土日(参加者の想定とあわせて検討)
  - 2時間程度か半日程度が多い。  
(必要に応じて、ペットボトルなど飲み物を準備、まれには昼食を挟むケースがあり、その場合は弁当の手配なども必要。)



# 準備段階と開催中の注意点

---

- コミュニケーションの目的の明確化
- 伝えたいことは何かを整理する。
  - 事業者が伝えたいこと・住民が知りたいことが同じとは限らない。
- 相手に分かりやすく説明するための準備
  - 業界用語や専門用語は使わない、あるいは解説してから使う。
- 住民の意見や質問を引き出す工夫
  - あらかじめ、工場見学や会社紹介ビデオによる説明をした上で、化学物質の排出や管理について説明するなどのプログラム上の工夫
  - 最初に、自己紹介及び参加の目的を一言話してもらうなどの進行上の工夫

# 開催後の対応

---

- 議事録や記録の作成
- その場で回答できなかった質問への対応
  - 質問者本人だけに回答すればよい内容か  
他の参加者にも伝えるべき内容か。  
口頭か紙面か、HP公開等を事前に検討。
- 参加者からのメッセージを吟味
  - 事業者への要求内容は何か、  
それを反映した環境対策等が必要か、  
また、その決定をどう回答するか等
  - 参加者の知りたい情報を提供できたか、  
次回以降の対応をどうするか等
- コミュニケーションの評価
  - 必要に応じ、アンケートやヒアリングを実施



# 円滑なコミュニケーションのための第三者の活用

## ● ファシリテーター(進行役)の採用

- ・中立的な立場で、グループのプロセスを管理し、その成果が最大となるように支援する人。
- ・結論を導いたり、誘導したりしない。  
(結果や結論には責任を持たない・持てない。)
- ・会議を円滑に進めるためのルールを作る。
- ・議論が噛み合うよう、必要に応じて修正する。

## ● インタープリター(解説者)の採用

- ・専門用語など理解が難しい情報を中立的立場から、分かりやすく解説する。
- ・参加者に代わって物事を判断したり誘導しない。  
(リスク評価はしない。リスク評価のプロセスの適正性を判断することはある。危険か安全かの判断はしない。)

# ファシリテーター・インタープリター活用の留意点

---

## ● 中立的な立場の第三者を活用する利点

- ・事業者と住民とが対等な立場であることが明確になる。
- ・偏った思い込みが排除され、議論がかみ合って、スムーズな進行が期待できる。
- ・問題が深堀できる。
- ・化学物質に対する解説が中立的で、住民に受け入れられやすい。化学物質の有害性などの解説を任せられる。

※欠点: 部外者なので、開催の主旨説明や進行上の配慮について、事前打合せなどの手間がかかる。

## ● 事業者から選出する利点

- ・従来からの背景に詳しいファシリテーターやインタープリターならではの、きめ細かい対応ができる。
- ・事業の実態に沿った解説ができる。

# 開催後の感想（住民・NPO）

---

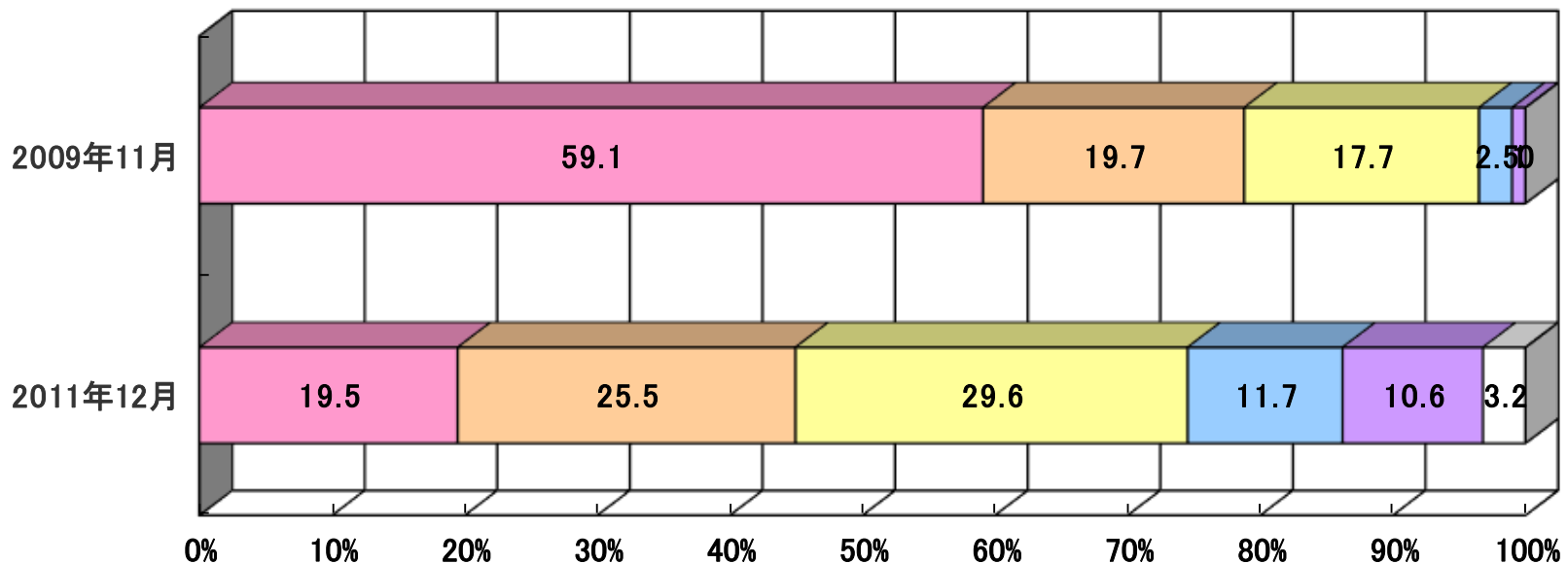
- 環境対策や整理整頓がきちんとされていて安心した。
- この地域に〇年住んでいるが、工場の中を見るのは初めてだった。きちんと管理されていて感心した。
- 昔はにおいが気になったが、今日見学した中ではほとんど感じなかった。
- この工場で、どのような化学物質を使用し、何を作っているのか理解できた。
- リスクコミュニケーションの実施には、県等の指導が必要である。やっただけの価値はあると思ったので、県はこういう会をいろいろなところで設けて欲しい。
- 不安や疑問に思っていたことが解決した。
- 言いたかったことが言える場があってよかった。

# 開催後の感想（事業者）

---

- 地域の方に当社を知ってもらい、いい機会になった。
- 環境対策をアピールする機会になった。
- 地域の方の意見を聞く機会となって、よかった。
- 処理施設等の見学（公開）を喜んでもらえてよかった。
- どんな質問があるか不安だったが、実施してよかった。
- 環境保全や化学物質管理の取組を理解いただけだと思う。今後、より信頼していただけるよう取組みます。
- 地域の方に情報を公開・開示することで、信頼関係を深める事の大切さを、身にしみて痛感させられた。
- いい機会ではあるが、正直、毎年開催するのは大変。今後は2年に1回程度、あるいは工業団地内の持回りとして、各社が数年に1回程度の開催としたい。

## 研究開発の方向性は専門家が決めるのがよいか？ 単位：%



市民参加型による決定が重視されつつある。

- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない

# 化学物質管理とリスクコミュニケーション

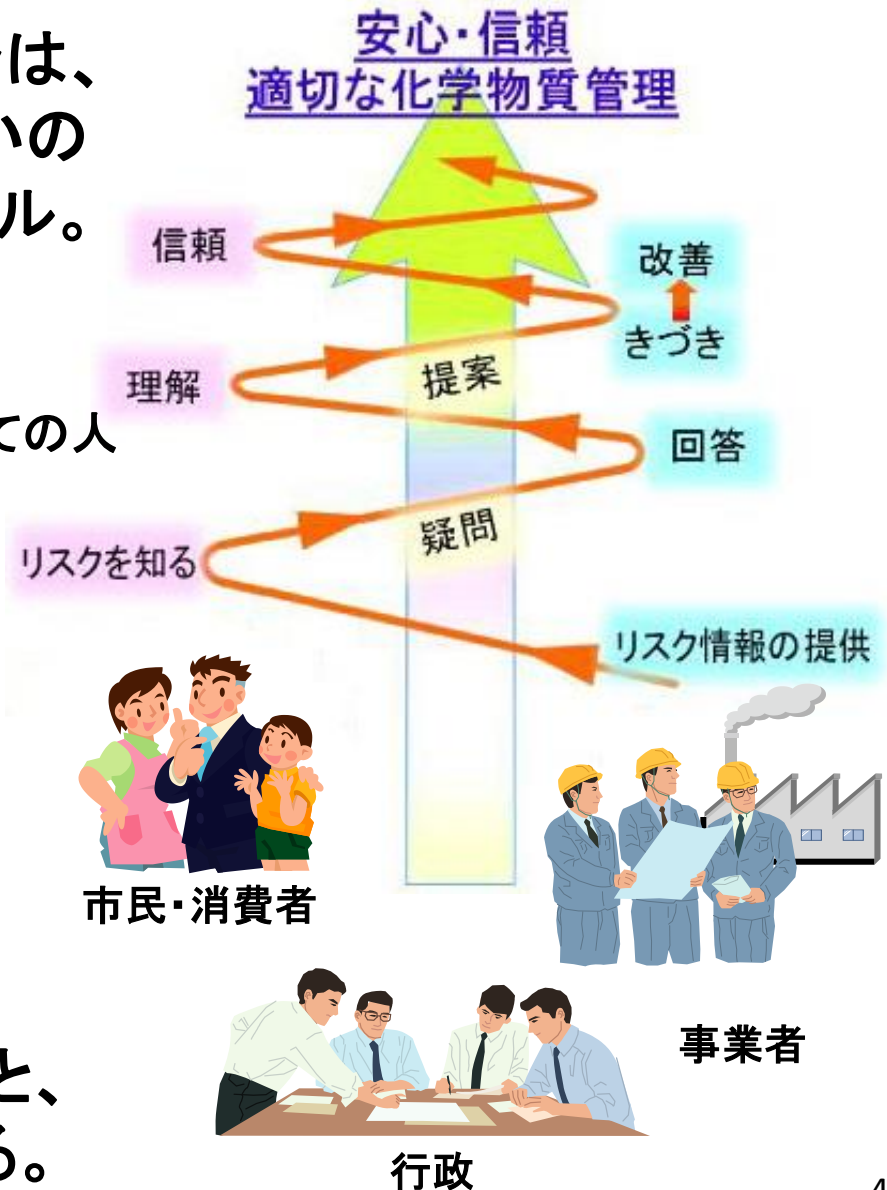
化学物質のリスクコミュニケーションは、適正な化学物質管理を行い、お互いの信頼関係を築くための、重要なツール。

化学物質の適正管理のためには、関係する全ての人（事業者、行政、地域住民、...）が、化学物質のリスクに関する情報を共有する必要がある。

そのために行なわれる対話が、リスクコミュニケーションである。

リスクコミュニケーションを通じて、より具体的な対策に結びつけ、化学物質による環境負荷の低減を図る。

リスクコミュニケーションを継続すると、より適切な化学物質管理につながる。



# できることから取り組みましょう！

さまざまな  
コミュニケーション

## 環境情報の開示

- ・CSR(社会・環境)報告書の発行
- ・ホームページ、パンフレット等

## 環境コミュニケーション

- ・工場見学会
- ・環境報告書を読む会
- ・環境モニター
- ・環境パトロール
- ・地域対話集会
- ・環境懇談会
- ・JRCC地域対話集会 など

## 現場の公開

- ・工場見学
- ・職場体験

## 対話

- ・懇談会
- ・環境学習支援



## その他日常の コミュニケーション

- ・交流会
- ・お祭り
- ・清掃・美化活動
- ・緑化活動
- ・啓発活動
- ・防災訓練 等  
など

---

**ご清聴ありがとうございました。**